

令和7年度2月補正予算

総額

822億円

令和8年度の当初予算は、国の経済対策を最大限活用した令和7年度12月補正予算・2月補正予算と合わせた16か月予算として一体的に編成。切れ目のない対策の実施に取り組みます。補正予算では、早期に取り組む必要がある経済対策などの施策を重点的に盛り込んでいます。

★「物価高対応福岡県子育て応援金」を給付 ▶ 86億9,511万円

食費や光熱費の負担など物価高の影響が大きい子育て世帯に対し、こども1人あたり1万円を給付

対象

国の「物価高対応子育て応援手当」を受給した18歳以下のこどもの保護者(福岡県居住者)など(令和7年10月1日から令和8年3月31日に出生したこども、県外から転入したこどもの保護者も対象です)

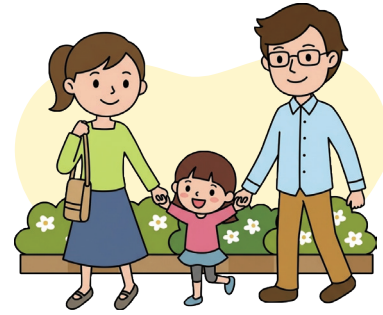
給付開始時期

令和8年6月～

申請手続

原則、不要。申請が必要な方は、令和7年10月1日から令和8年3月31日に県外から転入したこどもの保護者です。

詳細はこちら



★ 卵子凍結による妊よう性温存等に関する課題を検証

▶▶▶ 1億217万円

- ・卵子凍結や凍結卵子を用いた生殖補助医療の費用を助成し、早期卵巣不全など早期に妊娠する力が低下する可能性がある人を支援
- ・その提供データにより、課題を検証



★ こどもたちの健康を守る！ 県立高校にエアコンを整備 ▶▶▶ 4億1,825万円 (令和8年度当初予算: 22億8,639万円)

夏の猛暑から生徒の健康を守るため、体育館や特別教室、食堂・厨房へのエアコン設置の設計・工事

※体育館には、風や音が少ないことで競技の妨げにならず、必要な空間のみの室温調整が可能で省エネルギー性能にも優れた輻射パネル併用方式を採用



ふくしゃ (輻射パネル×パッケージエアコン)

★ 食べて学ぼう！ 県産ブランド農林水産物を提供 ▶▶▶ 3億7,244万円

「博多和牛」や「福岡有明のり」など本県自慢のブランド農林水産物を食べてもらい、その素晴らしさを知ってもらうため、学校給食において提供



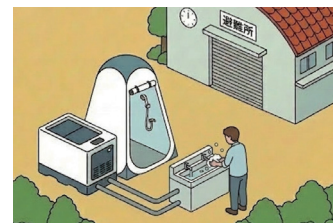
〈「博多和牛」と「福岡有明のり」の食材イメージ〉

★ 病気のこどもや家族を支える「こどもホスピス」の安定的な活動を支援 ▶▶▶ 1,714万円

重い疾患で思うように外出ができないこどもや家族に、体験活動などのサービスを提供する「こどもホスピス」活動を支援

★ 災害時の入浴環境を改善 ▶ 1億1,858万円

水循環式シャワー設備および手洗い設備を導入し、避難所での生活環境を改善



〈水循環式シャワーなどのイメージ〉